

無国籍ネットワークユース

人権・国際・地域交流



◆活動計画

3月：マレーシア研修 4月：新歓活動（説明会、WAVOC 企画参加等）
5月～各月：親睦会、勉強会 7月：初回セミナー開催 11月：早稲田祭出展
そのほか不定期でイベント開催（新型コロナウイルスの感染拡大具合にもよるが、対面での写真展開催や交流会、入国管理局の訪問、物資支援、絵本の読み聞かせ活動なども検討）

◆Episode 私たちにできること

私が無国籍ネットワークユースに入会したのは、ボランティアを経験してみたく、国籍を持たないことで普通の暮らしができない、そんな人たちが居ることにまず驚いたからです。私は自分のパスポートを使って国家間の移動ができ、病院や学校・様々な場面で日本国の助成を受け、気づかない当たり前の支援体制に守られているのだと思いました。

無国籍という事実で困る人がゼロになる世の中でなくとも、国や周りの人の柔軟な理解のため、私たちは学び、当事者に寄り添い、この社会問題を伝えていくことに取り組むのだと考えます。
（2021 早稲田企画より）

今自分にできること

ロヒンギャ問題に関心はありましたが自分に何ができるのかを考えることはありませんでした。ロヒンギャ難民として認定された方の講演会では、差別を受けるロヒンギャの人たちは人権を守られず、国民、難民とも認定されない状況に置かれても尚国際社会は目を向けないことを訴えており、その中で彼は「日本も動いて欲しい」と言いました。私たち日本国民が動くことによって居場所を失った人々を救うことができると知りました。

「無国籍」という国際問題に対して今の自分の知識と力でどう問題に立ち向かうか、そして自分にできることはないというマインドセットを捨てて、これから貢献しようと考えています。（12月14日講演会にて）

問い合わせ先	stateless.youth@gmail.com
メンバー数	約 15 人
参加費用	なし
活動時期・頻度	年間を通して月 2 回のミーティング、 年数回のイベント

